

心理学検査・測定実習

科目ナンバリング EXP-202

必修 2単位

村上 香奈・飯島 雄大・森脇 愛子・
小松 英海・近藤 紀子・辻田 匡葵・
飯干 諒祐・湯浅 紋・一柳 貴博・
大井 瞳・古賀 賀恵・藤尾 未由希

1. 授業の概要(ねらい)

心理学は客観的事実に基づいて人間を探究する学問であり、研究にあたっては、実験・調査が不可欠である。
この授業では、心理学における各種検査法、調査法、観察法を実際に体験し、レポートにまとめることを通して、それらの基礎的な方法論を習得し、データ分析力と科学的思考力を身につけることを目的とする。

以下の種目について実習を実施する(予定)。

- 種目1 知能検査
- 種目2 質問紙法性格検査(目録法)
- 種目3 観察法
- 種目4 調査面接法
- 種目5 投映法人格検査
- 種目6 項目分析

初回の授業はガイダンスを実施する予定である。2回目以降は、基本的に、各班に分かれ、種目ごとに教室を移動して実習を進める。実習の種目及びスケジュールについては、手引書により、ガイダンス時に説明する。

種目ごとに、異なる教員が担当する。各種目の実習後、締め切り日までにレポートを提出することになる。

2. 授業の到達目標

(1)心理学に関連した各種検査法、調査法、観察法の基礎的な方法論を修得する。

(2)実習を通して得られたデータを分析し、レポートにまとめることができる。

※各種目の到達目標は手引書に記載されている。

3. 成績評価の方法および基準

レポート(100%)

※全回出席し、すべてのレポートを提出しないと単位の取得はできない。

4. 教科書・参考文献

教科書

手引書はガイダンス時に配布する(予定)。

参考文献

各実習の参考文献等は、その都度紹介する。

5. 準備学修の内容

実習前に『手引書』の該当種目を熟読し、実習の目的、意義、手続きを正確に理解しておくこと。また実習後は記憶が鮮明なうちにデータを整理、分析し、直ちにレポート作成を行うこと。各自レポートの執筆に充てられる時間を把握した上で、締め切りまでに間に合うように時間配分を行い、計画的に執筆をすすめること。

6. その他履修上の注意事項

心理学科の授業の中で非常に重視される科目である。やむを得ず欠席しなくてはならない場合には、事前に心理学教育研究支援室窓口(7号館8階)まで知らせること。遅刻は絶対にしないこと。春期の「心理学基礎実験実習」の単位を取得できなかった学生で、この授業の単位も取得できなかった場合は、留年となるので注意すること。不正行為は厳正に対処する。

※2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。

2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

※本科目の単位取得は、公認心理師プログラムの履修要件です。

7. 授業内容

- 【第1回】 以下は、1つの班を例としたものである。
ガイダンス
- 【第2回】 知能検査
- 【第3回】 知能検査の実習
- 【第4回】 質問紙性格検査
- 【第5回】 質問紙性格検査の実習
- 【第6回】 観察法
- 【第7回】 観察法の実習
- 【第8回】 各種目について振り返りとまとめ(オンデマンド形式)
- 【第9回】 調査面接法
- 【第10回】 調査面接法の実習
- 【第11回】 投映法人格検査
- 【第12回】 投映法人格検査の実習
- 【第13回】 項目分析
- 【第14回】 項目分析の実習
- 【第15回】 まとめ